

環境マネジメント

世の中の環境に対する関心は日増しに高まっています。当社は1999年に環境マネジメントシステムを構築して以来、着実な活動を展開しています。特に、各工場の特徴に合わせた自主的環境活動に力を入れてきましたが、さらに輪を大きく広げ、調達、物流の観点での取り組み強化を図っています。

メッセージ



生技生産本部長 環境保全統括者
専務取締役 河合 弘義

生産活動を行う中で、異常・苦情“0”はもちろん環境負荷物質・廃棄物の低減や省資源等、環境への配慮は不可欠です。しかし、社内での環境活動は専門家だけの活動になりがちであると感じています。毎日のように報道されている環境問題について、当社の従業員は一人ひとりの業務と重ねて今一度考え、少しでも向上・改善できるよう工夫することが大切だと認識しています。従業員の自覚を促すために2007年度は教育や社内報などによる啓発活動を重点に進めてまいりました。今後は安全活動と両輪で品質不良低減、生産性向上などを更に進め、ムリ・ムダ・ムラの無い生産活動をめざしてまいります。

大豊環境基本方針

当社は、「人と環境との調和を大切に、よき企業市民として社会に信頼され親しまれる会社をめざす」ことを理念として、環境に配慮した製品の開発、生産を行うとともに、省資源、リサイクル、省エネルギー、公害防止など環境対策に努める。

1. 総合的な取り組み

環境保全の企業活動は、地球環境と深く関連していることを認識し、環境委員会などの取り組みを運用強化するとともに関係各社とも協力し、環境対策の諸活動を更に推進して行きます。

- ・環境管理、監査体制の運用強化
- ・環境事前評価体制の運用強化

2. 未然防止の徹底

製品の開発、設計、生産、販売、廃棄に至る全ての段階において、環境に及ぼす影響を予測し評価して、環境保全に積極的に取り組みます。

- ・環境に配慮した製品の開発
- ・省エネルギーの促進
- ・環境保全の推進
- ・環境関連規程の見直し強化
- ・省資源、リサイクル活動の促進

3. 社会への貢献

人にやさしい地球環境の実現をめざして、事業活動を通じてのみでなく「良識ある企業市民」として、下記の啓発活動、社会貢献活動に取り組みます。

- ・社会貢献活動の推進
- ・広報活動の展開
- ・従業員への啓発活動の促進

全社環境方針

大豊環境基本方針をもとに、従業員が全員参加で環境保全活動に取り組み、事業に伴う環境影響を評価し、目的及び目標を設定して継続的改善と汚染の未然防止に努め、環境マネジメントシステムの維持・向上を図る。

1. 環境配慮型製品の開発・設計及び生産と販売

- ①環境保全、資源保護に充分配慮した製品の開発、設計及び生産と販売に積極的に取り組む
- ②「グリーン調達」は下記の2項目を積極的に取り組む
 - ・お客様より環境配慮型製品の要請に対して、適確に対応する
 - ・原材料、副資材は環境配慮型商品の購入に努める

2. 法規制の遵守

環境に関する法規制及びその他の要求事項を遵守する

3. 省資源、省エネルギー、廃棄物の削減及びそのリサイクル

知恵と工夫で省資源、省エネルギー、廃棄物の削減及びそのリサイクルを推進して実質効果を生み出す

4. 環境負荷物質、化学物質の抑制と低減

環境負荷物質及び化学物質は、排出の抑制及び使用の低減に努める

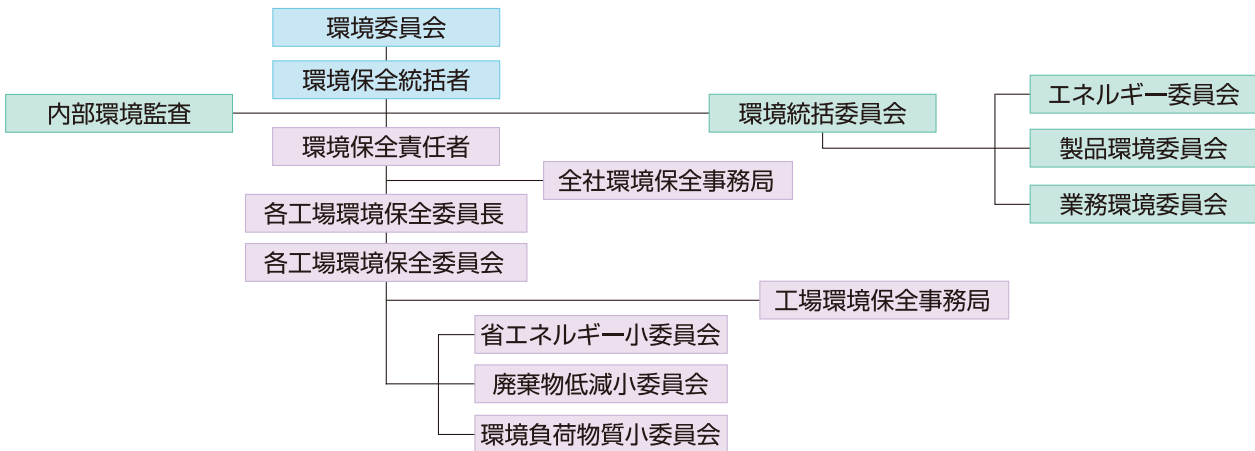
5. 教育、啓発活動

環境保全意識及び活動を向上させるため、全従業員に対して教育啓発活動を積極的に行う

6. 地域社会とのコミュニケーション

地域社会との対話を大切に環境保護活動に貢献する

2007年度推進組織



認証登録範囲

1999年より、事業所単位での認証取得を推進してきました。さらに効率の良いシステムをめざし、2004年度からは全社統合システム（国内・大豊工業のみ）として認証を取得し、運用しています。今後は国内子会社にも活動範囲を拡大していきます。

■ 国内のISO14001認証登録状況

事業所	認証取得
本社/本社工場	2002/12
細谷工場/技術開発部門	1999/12
篠原工場	2000/12
幸海工場	2000/12
九州工場	2002/1
春日井工場(株)TET	2006/12
大豊精機(株)	2003/2
日本ガスケツト(株)	2002/5
タイホウパーツセンター(株)	(2008年度予定)
大豊岐阜(株)	(2009年度予定)

■ 海外のISO14001認証登録状況

事業所	認証取得
タイホウコーポレーション オブアメリカ	2000/5
タイホウコーポレーション オブヨーロッパ	2004/2
韓国大豊株式会社	2005/7
タイホウタイランド株式会社	2005/1
タイホウマニュファクチャリング オブテネシー LLC	2007/12
タイホウヌサンタラ株式会社	2006/3

外部審査

環境マネジメントシステム（以下EMS）が適切に運用されているかどうか、外部機関による審査を毎年受けています。2007年度は更新審査の年に当たり、EMS全体に関して審査を受けました。結果、適切に運用されていることが確認され、登録が更新されました。



記録類の審査



現場審査

内部監査

EMS運用のレベルアップを図る為、工場間相互で内部監査を実施しています。また、内部監査員リフレッシュ教育を実施し、監査員のレベルアップに努めています。



細谷工場内部監査



内部監査員リフレッシュ教育